

シオンだより

発行 社会福祉法人 思恩会
児童家庭支援センターシオン（七窪思恩園内）
〒997-1117 鶴岡市下川字窪畑 1-288
Tel:0235 (68) 5477 Fax:0235 (68) 5478
平成29年 12月 第36号

里親制度をご存知ですか？

子どもたちの健全な成長には、
家庭での生活や経験は不可欠です。

しかし現在の社会には、様々な事情から
家庭での生活ができなくなった子どもたちが
大勢います。

その多くは、乳児院や児童養護施設での生活を余儀なくされていますが、
今そのような子どもたちが、全国に2万人以上いる現実を
あなたはご存知ですか？

彼らを自分の家庭に招き入れ、
温かい愛情と、正しい理解で成長をサポートする。
それが里親制度です。
里親になるためには、研修を受けるなど
一定の要件を満たす必要があります。

山形県内でも、もっとたくさんの里親が必要とされています。
あなたも里親になってみませんか？

里親の種類

- ①養育里親は、養育里親研修を受講し、様々な事情で
家庭で生活できなくなった要保護児童を養育する里親です。
- ②専門里親は、障がい、虐待、非行など、
特に密接で丁寧な家庭援助が必要な子どもを養育する里親です。
- ③養子縁組里親は、養子縁組を希望し、子どもの養親となる里親です。
- ④親族里親は、両親の死去等で養育できない場合、親族が子どもを養育する里親です。

詳しくは、児童相談所（Tel:189）まで

児童家庭支援センターシオン

〒997-1117 山形県鶴岡市下川字窪畑 1-288（児童養護施設七窪思恩園内）

相談専用 ☎ : 0235-68-5477 FAX : 0235-68-5478

Eメール : tzion@shionkai.hs.plala.or.jp

H P : <http://shionkai.hs.plala.or.jp/tzion/>

“児童家庭支援センターシオンのブログ” : <http://tzionshionkai.blog.fc2.com/>

シオンセミナーを終えて

副島賢和先生による講演会

「自分も相手も大切にすること」～院内学級の子どもたちが教えてくれた大切なこと～

今年度のシオンセミナーは、副島賢和先生をお招きしての講演会で、おかげさまで盛況の中無事終了することができました。当日は小雨模様の生憎の天気でしたが、たくさんの方々に集まっていただきました。中には副島先生のお話を聞きたいと、最上地方から来てくださった方もおりました。副島先生の熱い思いが伝わってくる内容について、いくつか抜粋して紹介したいと思います。

- ・当事者意識を持つことが大切・・・思いやり、相手の気持ちを視点を変えて想像してみる。
- ・喪失体験から否定的自己イメージを持ってしまう子どもたちに、教育者は教育を通して、またそれぞれの専門性を活かして肯定的イメージを作っていく。
- ・今日という日は誰にとってもはじめての日なのだから、失敗してもいい。はじめてだから、うまくいかないことがある。
- ・自分の感情を大切に・・・誰かの悲しみやつらさを受け取るには、自分の感情を渡せる人をつくる。
- ・どんな感情も大切・・・特に不快な感情を大切に。負の感情をしっかり扱うことが大切。感情に善し悪しはなく、どんな感情を持ってもいい。
- ・親以外の依存先を探すことが、自立。
- ・感情表出への理解・・・怒りは願いの裏返しであり、悲しみは助けてほしいという訴え。喜びは誰かとわかち合うことで加速し、恐怖や不安はそれを解決しなければならぬという強い願いです。
- ・Doingの前にBeing・・・何かができる、行動できるという前に、そこに存在するだけで価値があるのだということがわかるかわかりが大切。Doingは社会的自尊感情を高めますが、Beingは基礎的自尊感情、自分はかけがえのない存在だとわかることです。



ホスピタルクラウンとしても活動してこられた副島先生。講演会の後半では上着を脱ぎ、トレードマークである赤鼻を手になされたりして語って下さいました。先生の思いは、参加された方々にしっかり届いたと感じました。

お忙しい中、庄内に来てくださった副島賢和先生、参加者の皆さま、本当にありがとうございました。